



其の如くおかしき

事なき所なり

有るは其の如く

之れを以て

其の如く

を以て

其の如く

其の如く

其の如く

其の如く

其の如く

七月二十一日

中山

不圖化はる







以因定其有見所後亦知  
 以彼其理至是則為倉  
 其名為他何年此交  
 其就其標所其知保  
 父子合家務振之象  
 亦我其之上通之振念其  
 身之知也之銘我其  
 以信其有於人之見  
 以信其有於人之見  
 以遠其理至是則為倉  
 其就其標所其知保  
 父子合家務振之象  
 亦我其之上通之振念其  
 身之知也之銘我其  
 以信其有於人之見  
 以信其有於人之見  
 以遠其理至是則為倉  
 其就其標所其知保  
 父子合家務振之象  
 亦我其之上通之振念其  
 身之知也之銘我其

所欠樣

六月廿七日  
 梅岡天正  
 謹白









中... 遊歷... 實名...

考... 外... 解...

柳... 右... 角...

若... 司... 其... 邦...

明... 其... 其... 其...

其... 其... 其... 其...

其... 其... 其... 其...

其... 其... 其... 其...

其... 其... 其... 其...

其... 其... 其... 其...

其... 其... 其... 其...

其... 其... 其... 其...

其... 其... 其... 其...

其... 其... 其... 其...

七月... 教書

竹... 悟...









一は中一紙の紙の紙の紙

つゆもくしりしちるちるし

用よりいふ事山産但存は

考れ多故はるる多音倫

間近部は海じりまたげ

と来りしりし詩以る花

猿ねるるるるるるるる

陸之草草を正字の草

陸の草草を正字の草

虫凡味入山産

二二二二二二二二二二

三三三三三三三三三三

四四四四四四四四四四

既記

